



昭和50年4月勝山町青木ビル



昭和41年湊町中道ビル2階



昭和58年6月本社ビル完成



昭和46年4月上一万交差点

しよっさんのお楽しみ日記 92

「経営の 一線から身を引く」の巻

昭和三十八年松商を卒業し、伊予商運(株)に入社、私の旅行業人生が始まりました。素晴らしい先輩や同僚に恵まれ「お金の大切さ」「お客さまは神様」「仕事が出来てナンボ」という人生の宝物を頂きました。

昭和四十一年町田珠江様に後を継がないかとお誘いを受け(株)日本交通社に入社(社員は私一人だけでした)それから五年間、相撲社会で言う内弟子(?)を育てながら独立の準備をしてきました。

昭和四十六年、私を含め五人で経営者のスタートをしました。お客様や先輩そして同級生の皆さんにいろいろ教えて頂きながらの経営でしたが時代にも人にも運にも恵まれ、昭和五十年4月には勝山町交差点に新築になった青木第一ビル一階に店舗を構えることができました。

そして、十二月には大阪本社より独立し、新社を設立。自分の目指す旅行業者へのスタートを切りました。当時、地場旅行業者では考えられなかった航空会社の代理店、一般旅行業登録、本社ビルの取得等々順風満帆の発展をさせて頂きましたがいづも何時か「落とし穴」があると心してきたことを思い出します。

毎年、社員全員参加の「年度計画書」や当社独自の「賃金規定」「業務マニュアル」等作ったのも思い出です。

平成七年には会長就任(旅行業三十年)以後十年間、町長職にも就かせて頂きましたが平成二十五年二月五日(ニコニコでびったりでした)に会社に復帰、二十八年には後継社長に光田秀之を指名し、本年経営者として五十年を期に一線から退くことになりました。コロナ問題もありますし、仕事大好き人間ですので(好きだけでは務まりません)葛藤もありましたがいつまでも口出しすると社長も存分に力を発揮出来ないと考え決断しました。

これからは「営業手伝い」として社業のバックアップをして参りたいと思います。仕事が出来なければお払い箱になります(笑)ので何卒日本交通社を宜しくお願ひ申し上げます。



中村剛志